

SBA特別セミナー

スポーツマンシップを考える

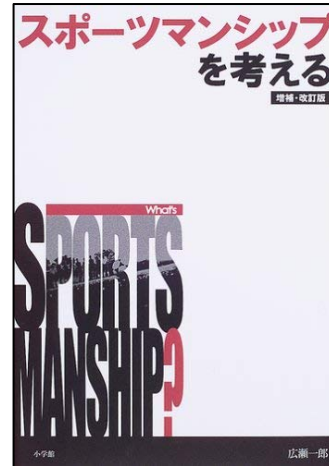
一般社団法人日本スポーツマンシップ協会
会長（代表理事） 中村 聡宏



故・広瀬一郎氏を偲んで



- 1955 ・ 9月16日静岡県生まれ
- 1980 ・ 東京大学法学部卒業
 - ・ 株式会社電通入社
- 1981 ・ 第8連絡局配属（トヨタ担当営業）
- 1984 ・ ワールドカップを含め、サッカーを中心とした団体スポーツのイベントプロデュース多数
- 1994 ・ 2002年FIFAワールドカップ招致委員会事務局出向
- 1997 ・ コーポレートコミュニケーション局
- 1999 ・ 環境問題研究のため米国ワシントンDCにOJT研修
 - ・ 経営品質協議会認定セルフアセッサー資格取得
 - ・ Jリーグ経営諮問委員会委員就任（任期2年）
- 2000 ・ スポーツ・ナビゲーション設立、代表取締役就任
- 2002 ・ 同社を退社
 - ・ 独立行政法人経済産業研究所（RIETI）上席研究員就任
- 2003 ・ スポーツマネジメントスクール（SMS）発足
- 2004 ・ 同研究所（RIETI）離職
 - ・ スポーツーツ総合研究所設立、代表取締役所長就任
- 2005 ・ 江戸川大学社会学部教授就任
- 2008 ・ 多摩大学大学院教授就任
- 2012 ・ 特定非営利活動法人スポーツマンシップ指導者育成会設立、代表理事就任
- 2013 ・ 静岡県知事選出馬
- 2017 ・ 5月2日逝去（享年61歳）

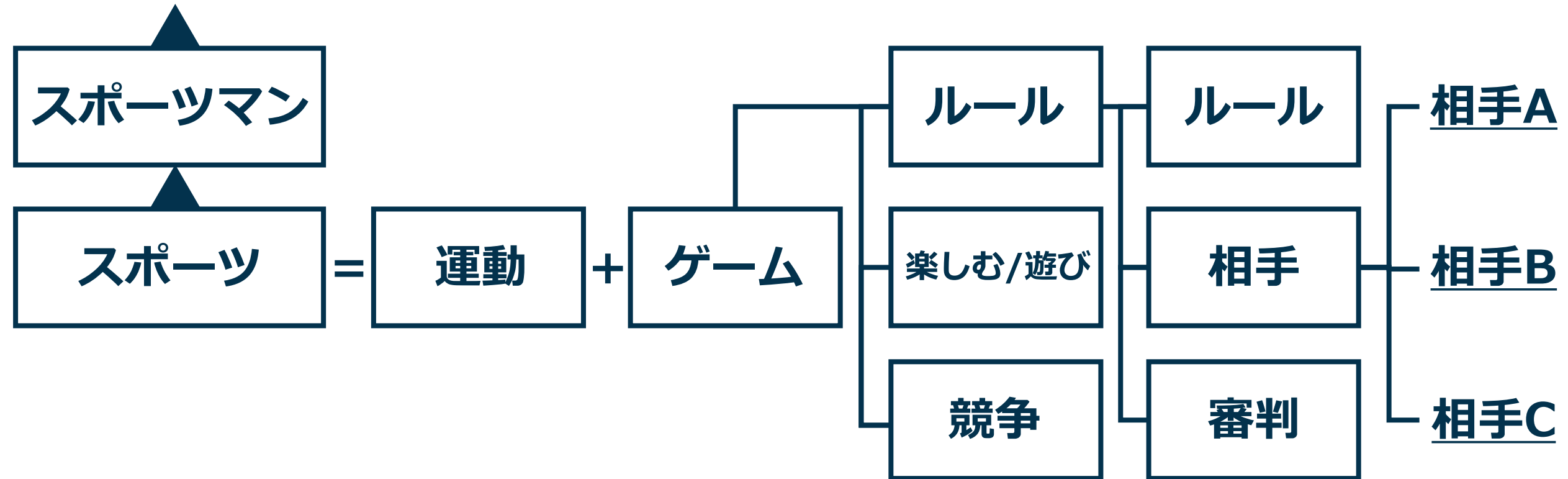


- 2002 ・ 『スポーツマンシップを考える』 (ベースボール・マガジン社) 出版
- 2004 ・ 『スポーツマンシップを考える 増補・改訂版』 (小学館) 出版
 - ・ 慶應義塾幼稚舎小学校5年生向け授業実施
 - ・ 中央区立泰明小学校5年生向け授業実施
- 2005 ・ 「スポーツマンシップ普及推進プロジェクト2005」実施
 - ・ DVD+DVD解説ブック+エピソードブック『スポーツヒーロー物語』
⇒ダイヤモンド国際経営研究所×スポーツ総合研究所×48法人・団体+2個人
- 2010 ・ 『スポーツマンになろう!!』 (埼玉西武ライオンズ) 発行・配布事業
 - ・ 『スポーツマンシップ立国論』 (小学館) 出版
- 2012 ・ 特定非営利活動法人スポーツマンシップ指導者育成会設立
- 2014 ・ 『新しいスポーツマンシップの教科書』 (学研教育出版) 出版
- 2016 ・ 『スポーツマンシップの基礎知識』 発行

スポーツマンシップ授業

<https://www.youtube.com/watch?v=eX-m9SJLTkk&t=0s>

『スポーツマンシップ』



- 1973 ・ 東京都生まれ
- 1996 ・ 慶應義塾大学法学部卒業
 - ・ フリーター生活突入
- 2000 ・ スポーツ・ナビゲーション設立前の広瀬一郎氏に紹介されるが断られる
 - ・ 印刷会社に入社、事業開発部に所属、スポナビオープンングプロジェクトに携わる
- 2002 ・ 『スポーツマンシップを考える』（ベースボール・マガジン社）編集・印刷を担当
 - ・ 勤務先が民事再生手続、フリーランスに
 - ・ 独立行政法人経済産業研究所（RIETI）アシスタントリサーチャー
- 2003 ・ スポーツマネジメントスクール（SMS）を立ち上げ、事務局担当
- 2004 ・ スポーツーツ総合研究所、取締役就任
 - ・ 『スポーツマンシップを考える』（ベースボール・マガジン社）編集・印刷を担当
- 2005 ・ 「スポーツマンシップ普及推進プロジェクト2005」事業企画、制作を担当
- 2010 ・ 『スポーツマンになろう!!』（埼玉西武ライオンズ）発行・配布事業企画、制作を担当
- 2012 ・ 日本オリンピック委員会（JOC）広報誌 編集責任者
 - ・ 特定非営利活動法人スポーツマンシップ指導者育成会設立、副理事長兼事務局長
- 2014 ・ 『新しいスポーツマンシップの教科書』（学研教育出版）出版事業企画、構成を担当
- 2015 ・ 千葉商科大学サービス創造学部専任講師 就任
- 2018 ・ 一般社団法人日本スポーツマンシップ協会設立 会長/代表理事 就任

- 1973 ・ 東京都生まれ
- 1996 ・ 慶應義塾大学法学部卒業
 - ・ フリーター生活突入
- 2000 ・ スポーツ・ナビゲーション設立前の広瀬一郎氏に紹介されるが断られる
 - ・ 印刷会社に入社、事業開発部に所属、スポナビオープニングプロジェクトに携わる
- 2002 ・ 『**スポーツマンシップを考える**』（ベースボール・マガジン社）編集・印刷を担当
 - ・ 勤務先が民事再生手続、フリーランスに
 - ・ 独立行政法人経済産業研究所（RIETI）アシスタントリサーチャー
- 2003 ・ スポーツマネジメントスクール（SMS）を立ち上げ、事務局担当
- 2004 ・ スポーツーツ総合研究所、取締役就任
 - ・ 『**スポーツマンシップを考える**』（ベースボール・マガジン社）編集・印刷を担当
- 2005 ・ 「**スポーツマンシップ普及推進プロジェクト2005**」事業企画、制作を担当
- 2010 ・ 『**スポーツマンになろう!!**』（埼玉西武ライオンズ）発行・配布事業企画、制作を担当
- 2012 ・ 日本オリンピック委員会（JOC）広報誌 編集責任者
 - ・ **特定非営利活動法人スポーツマンシップ指導者育成会設立、副理事長兼事務局長**
- 2014 ・ 『**新しいスポーツマンシップの教科書**』（学研教育出版）出版事業企画、構成を担当
- 2015 ・ 千葉商科大学サービス創造学部専任講師 就任
- 2018 ・ **一般社団法人日本スポーツマンシップ協会設立 会長/代表理事 就任**

特定非営利活動法人スポーツマンシップ指導者育成会



一般社団法人
日本スポーツマンシップ協会

スポーツマンシップ。
そこには、私たちがより良く生きるため、
よりかっこよく生きるために必要な要素が詰まっています。
スポーツマンシップの正しい理解・普及と、実践・推進を通して、
より良い社会づくりに貢献します。

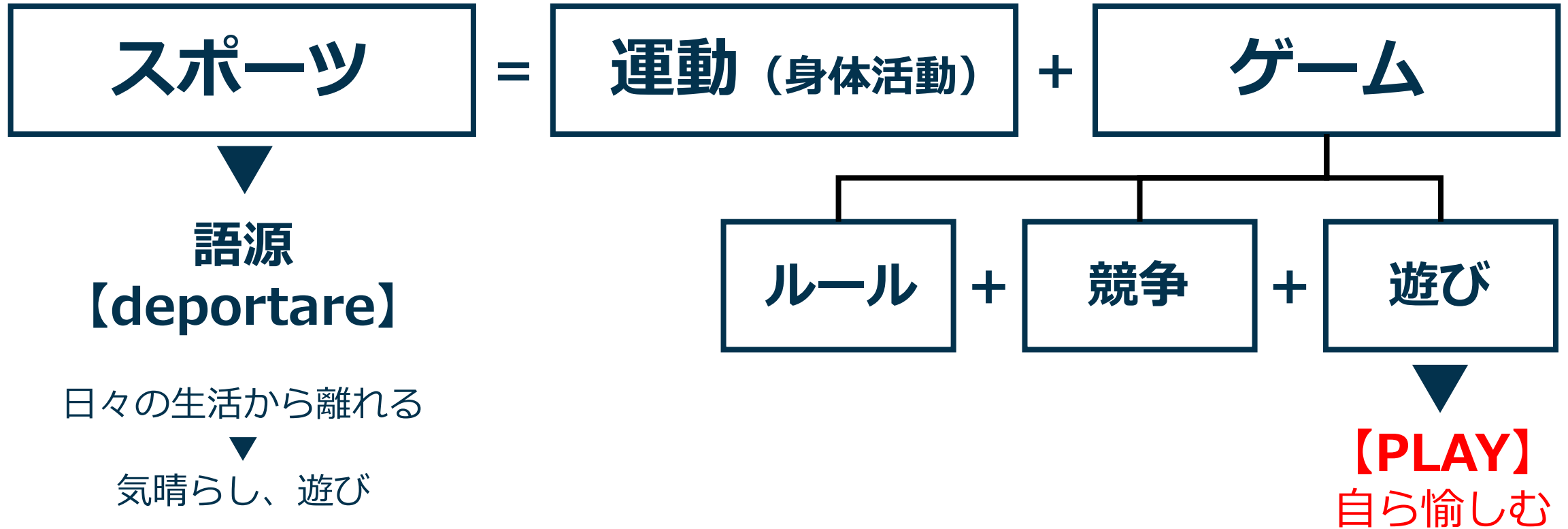
選手宣誓

我々は、スポーツマンシップに則って、
正々堂々と戦うことを誓います！



説明できないものに則れるだろうか？

広瀬一郎氏が提言した2016年の最新定義を元に



Good Gameをめざしてプレーする身体活動

■ スポーツとは

Good Gameをめざしてプレーする身体活動

■ Good Gameを実現する条件とは

Respect : プレーヤー（相手・仲間）、ルール、審判に対する**尊重**

Braveness : 責任を持って決断する**勇気**

Resolution : 勝利をめざし、自ら全力を尽くして愉しむ**覚悟**

■スポーツとは

Good Gameをめざしてプレーする身体活動

■Good Gameを実現する条件とは

Respect : プレーヤー（相手・仲間）、ルール、審判に対する**尊重**

Braveness : 責任を持って決断する**勇気**

Resolution : 勝利をめざし、自ら全力を尽くして愉しむ**覚悟**

■スポーツマンシップとは

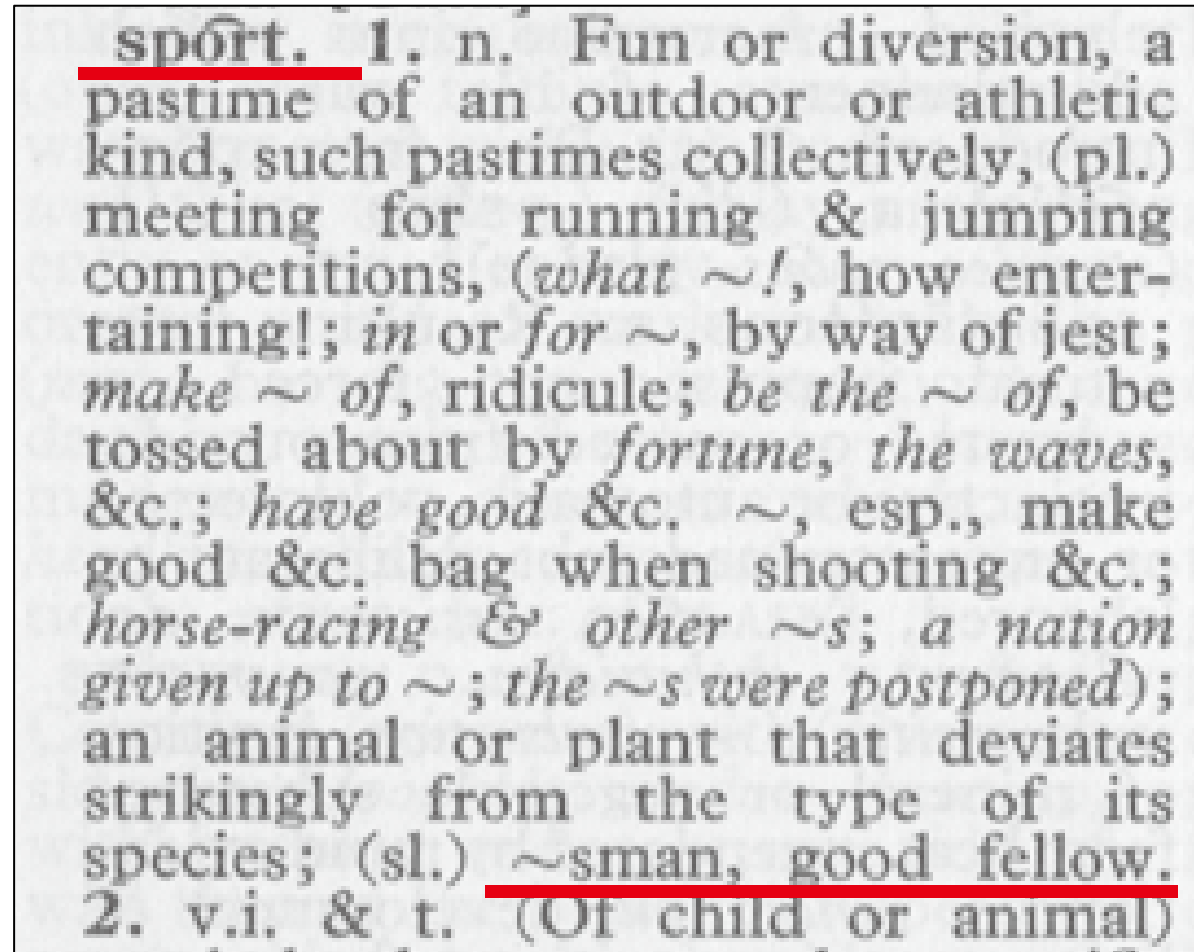
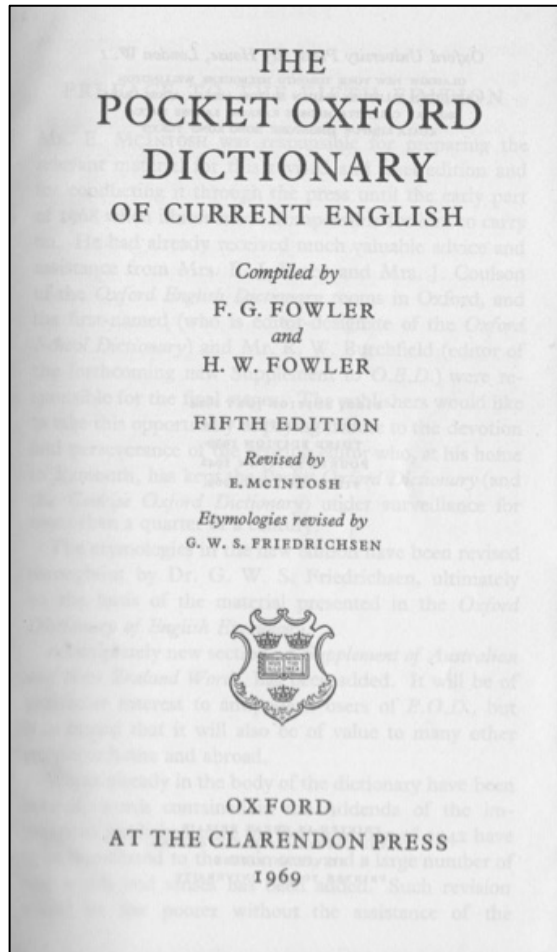
スポーツをする上で心がけるべきこと



Good Gameを実現するための心構え

■スポーツマンとは

スポーツとスポーツマンシップを理解し、実践する**Good Fellow**



THE
POCKET OXFORD
DICTIONARY
1969年版

■スポーツマンかどうかは……

負けた

時にわかる

- ◇相手のことを考えていますか？
⇒**勝った相手を心からたたえる（勝者・敗者同様に）**
- ◇他人や環境のせいにしていませんか？
⇒**悔しい気持ちをコントロールする**
- ◇力不足を潔く認めることができますか？
⇒**敗因を分析し、勝利に向けて再び全力で努力する**



Good Loser（よき敗者） = スポーツマン

■ スポーツはパラドクスに満ちた難問である

- ◇ 真剣に全力で戦うことが大切
⇒ **でも、単なる遊びや気晴らしにすぎない**
- ◇ 勝利こそが最大の喜び
⇒ **でも、ズルをせずに、フェアに戦うべき**
- ◇ 敗北はとてつらいこと
⇒ **でも、勝利した相手を心からたたえよう**



たかが、スポーツ。されど、スポーツ。

人生や社会にとっては必要ない、遊びにすぎない
真剣に勝ちをめざす過程に、学ぶべき価値がある
⇒ 私たちの人生に、豊かさをもたらしてくれる

■ スポーツはパラドクスに満ちた難問である

◇ 真剣に全力で戦うことが大切

⇒ **でも、単なる遊びや気晴らしに**

◇ 勝利こそが最大の声

⇒ **でも**

勝利至上主義 vs 快楽至上主義

つた相手を心からたたえよう

たかが、スポーツ。されど、スポーツ。

人生や社会にとっては必要ない、遊びにすぎない
真剣に勝ちをめざす過程に、学ぶべき価値がある
⇒ 私たちの人生に、豊かさをもたらしてくれる

■ スポーツと体育が教育ソフトとして採用された背景から考える

スポーツ

ビクトリア朝イングランド 植民地政策

▼
パブリックスクール
エリート教育・**将校育成**

▼
ジェントルマン≠貴族（仕事をする）

▼
ビジネスパーソンの論理

強靱な肉体・責任感・協調性・忠誠心・
自己判断・決断力・異文化への理解……

体育

日本・明治政府 富国強兵政策

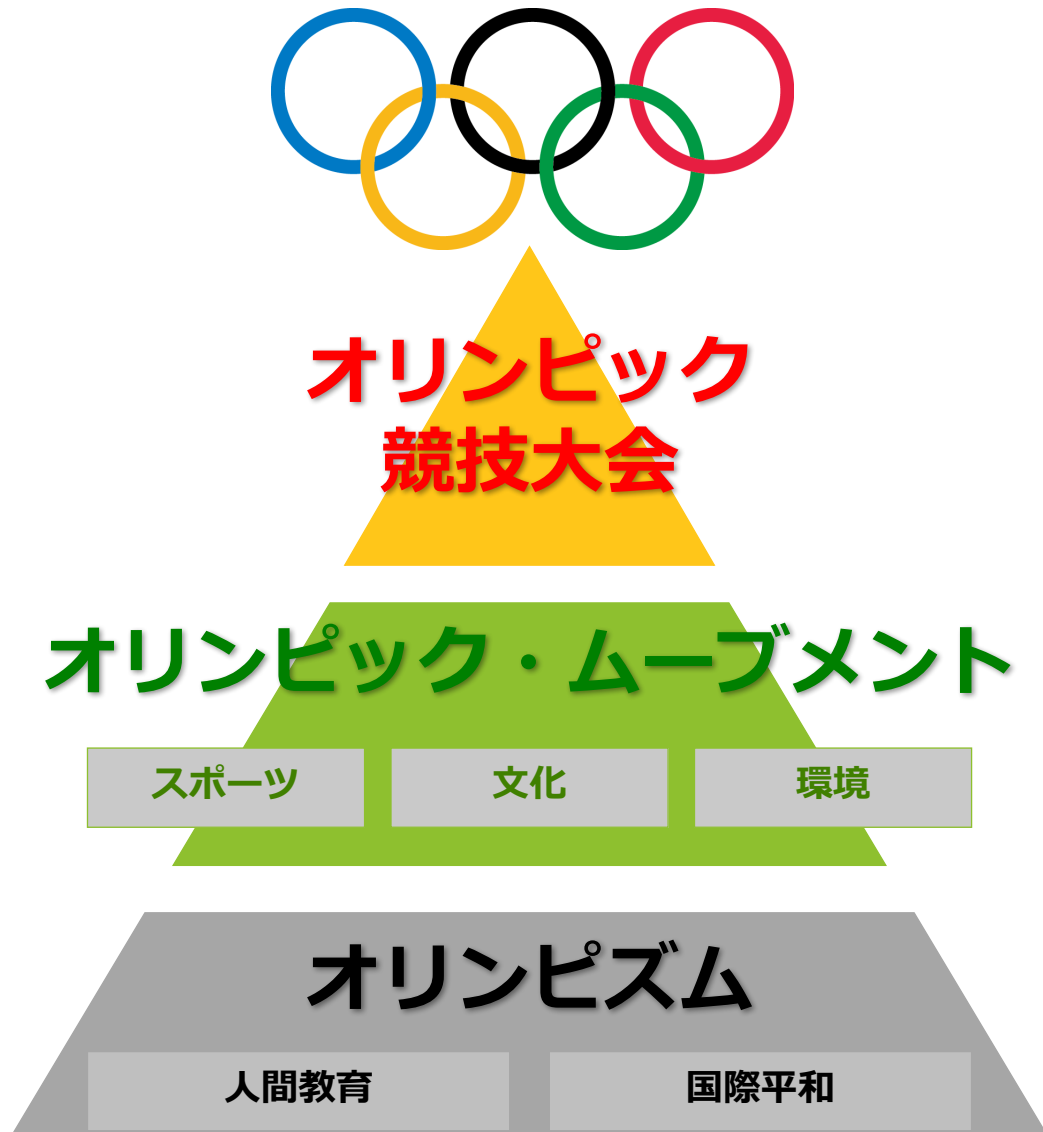
▼
士農工商・封建制度の終焉
国民教育・**兵士育成**

▼
森有礼（伊藤博文内閣 初代文部大臣）

▼
国民教育の基本「知育・徳育・体育」

強靱な肉体・責任感・協調性・忠誠心・
上意下達に対する従順さ……

将校と兵士の最大の差 = 判断の有無



オリンピックの目的は競技大会ではない

▲
【オリンピック・ムーブメント】

オリンピックという理念を広める活動

▲
【オリンピック】

肉体と意志と知性を高めてバランスの良い人間を育てる。

国籍・言語・宗教・文化など背景の異なる人々が理解しあい、平和な世界を築く。

- 尊重の先にもたらされるもの

真の

コミュニケーション

力

▼
単なる「協調性」ではない

- ・ 理解し合えない双方のたゆまぬ努力（覚悟）
- ・ 自らが持つ情報、自らの思考・意見の発信（勇気）
- ・ 他人に意見や思考に対する傾聴と理解（尊重）

▼
決して理解し合えない他人との共通理解（empathy）

スポーツ

ルールや慣習などに基づき
よいゲームをめざし競う身体活動

スポーツマン = Good Fellow

プレイヤー・審判・ルールを尊重する

自ら覚悟して試合や練習に取り組める

勇気をもってチャレンジ・行動できる

敗北を認め、相手をたたえ、努力できる

ビジネス

法律や商慣習などに基づき
よい社会をめざし競う経済活動

信頼されるビジネスパーソン

周りの人・ルール・モラルを尊重する

自ら覚悟して仕事に取り組める

勇気をもってチャレンジ・実践できる

失敗を認め、他人をたたえ、努力できる

理解する ≠ 実践する

- 「綺麗事」 「難しいこと」 かもしれない。
- 「カッコいい大人とは」あるいは、「気持ちよく生きる」とは、
と考えることはいいこと。
- そして、スポーツマンシップは、実は「強さ」ももたらさず。

- ①スポーツ、スポーツマン、スポーツマンシップについて考え続け、明らかにします。
- ②子どもたちが、スポーツマンシップを正しく理解し、実践し、スポーツを愉しめるように貢献します。
- ③スポーツ指導者が、スポーツマンシップを正しく理解し、実践・指導できるように貢献します。
- ④経営者・ビジネスパーソンが、スポーツマンシップ（=ビジネスパーソンシップ）を正しく理解し、実践できるように貢献します。
- ⑤スポーツマンシップの理解・実践を広く世界に普及し、豊かで平和な世界づくりに貢献します。

SBA特別セミナー

スポーツマンシップを考える



ケース

語りつぎたい小平奈緒の神対応

ケース

W杯、ポーランド戦のあの「ボール回し戦法」は
スポーツマンシップ的にどうだったのか？

ケース

松井秀喜への5打席連続敬遠はありだったか？

まとめと補足

スポーツの成長産業化（**¥**）のカギは
「スポーツマンシップ」の理解と実践にある。

ビジネス面から見た「スポーツマンシップ」

